

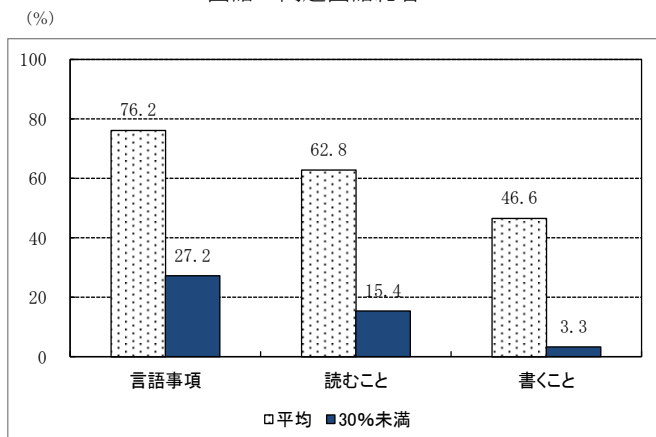
5 通過率 30%未満の生徒の状況

(1) 各教科・科目における学習内容の定着状況

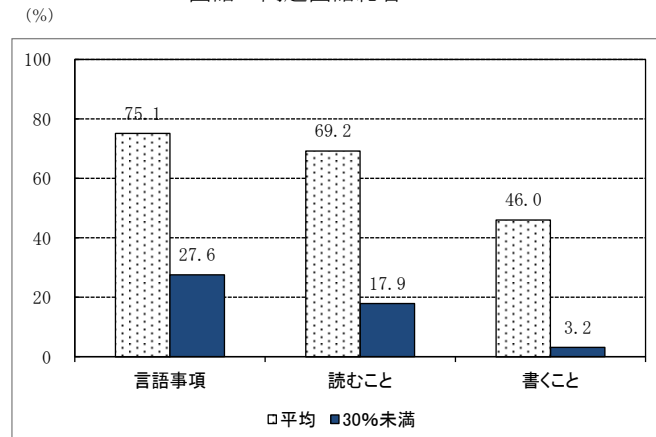
【国語】

通過率 30%未満の生徒は、A問題・B問題とも「書くこと」の領域の通過率が最も低く、県平均との差が最も大きい。

国語A問題国語総合



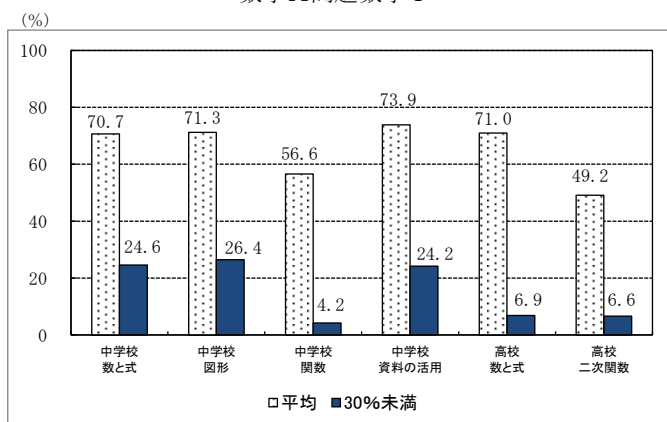
国語B問題国語総合



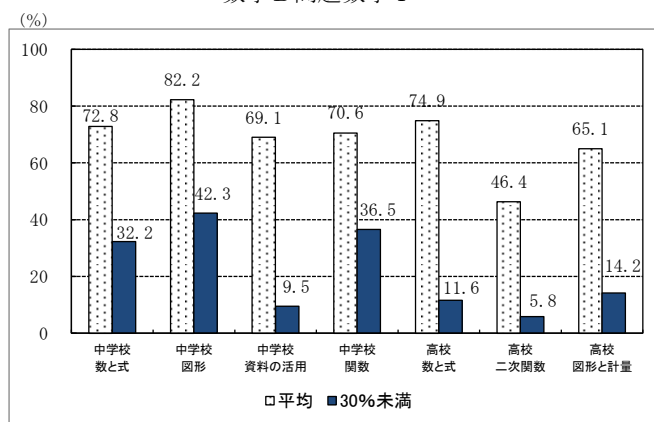
【数学 I】

通過率 30%未満の生徒は、A問題では「中学校 関数」の領域の通過率が最も低く、「数と式」の領域の通過率が県平均との差が最も大きい。B問題では「高校 二次関数」の領域の通過率が最も低く、高校「数と式」の領域の通過率が県平均との差が最も大きい。

数学A問題数学 I



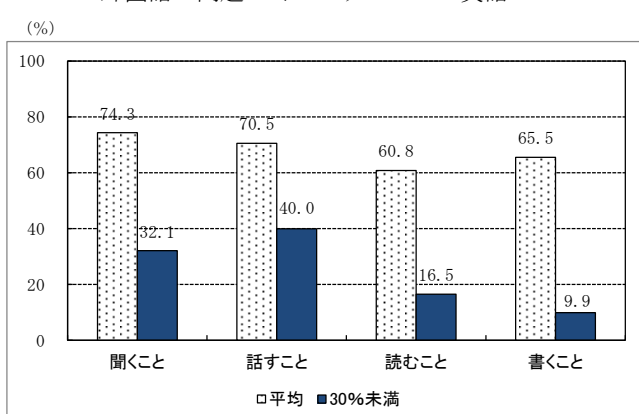
数学B問題数学 I



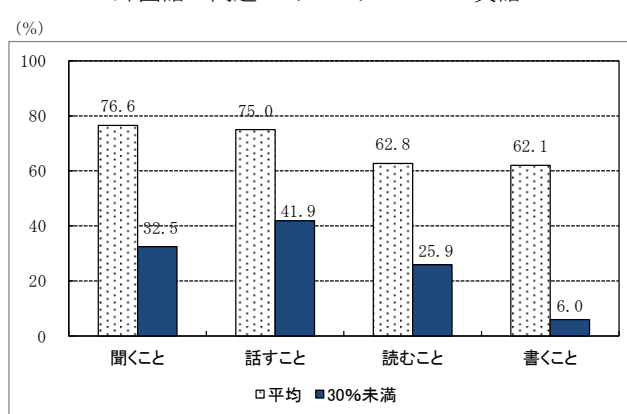
【コミュニケーション英語 I】

通過率 30%未満の生徒は、A問題では「書くこと」の領域の通過率が最も低く、県平均との差も最も大きい。また、B問題でも「書くこと」の領域の通過率が最も低く、県平均との差も大きい。

外国語A問題コミュニケーション英語 I



外国語B問題コミュニケーション英語 I



(2) 生徒質問紙調査の回答状況 ～県全体の肯定的な回答(「よくあてはまる」「ややあてはまる」)の割合と、通過率30%未満の生徒の肯定的な回答の割合の比較～

- ・ 県全体と通過率30%未満の生徒を比べると、「生活行動」「学習行動」「論理的な思考」に関する領域について、肯定的な回答の割合の差が大きい。
- ・ 「生活行動」「学習行動」「論理的な思考」に関する領域について、肯定的な回答(「よくあてはまる」「ややあてはまる」)の差が大きい設問のうち、第1学年と第2学年で共通する項目の回答状況は次のとおりである。

<生活行動>

- ・ 「部活動に一生懸命取り組んでいます。」

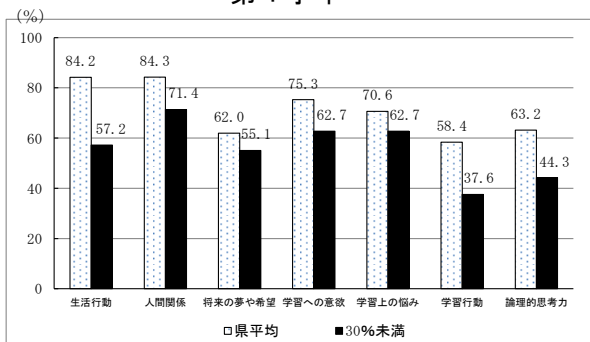
<学習行動>

- ・ 「わからない問題でも、あきらめないでやってみます。」
- ・ 「予習や復習(宿題を含む。)をします。」
- ・ 「勉強するときは、今まで習ったことと関連付けて理解しようとしています。」

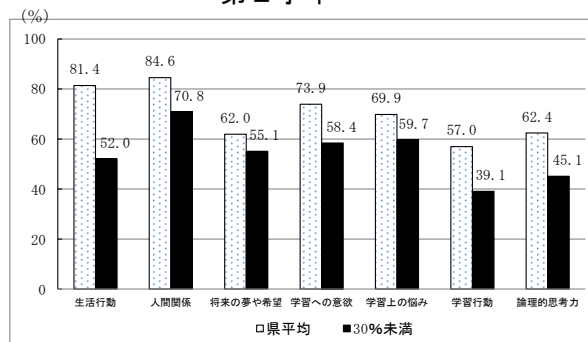
<論理的な思考>

- ・ 「決まりや条件などを理解して使おうとします。」
- ・ 「複数の情報から必要な情報を選んで使おうとします。」

第1学年



第2学年



<生活行動>

- 部活動に一生懸命取り組んでいます。

○県	: 1年 76.1%	2年 70.8%
●30%未満	: 1年 40.7%	2年 36.1%
★差	1年 35.4ポイント	2年 34.7ポイント

<学習行動>

- わからない問題でも、あきらめないでやってみます。

○県	: 1年 63.9%	2年 59.6%
●30%未満	: 1年 33.1%	2年 33.6%
★差	1年 30.8ポイント	2年 26.0ポイント

<学習行動>

- 予習や復習(宿題を含む。)をします。

○県	: 1年 67.2%	2年 62.0%
●30%未満	: 1年 22.9%	2年 32.0%
★差	1年 44.3ポイント	2年 30.0ポイント

<学習行動>

- 勉強するときは、今まで習ったことと関連付けて理解しようとしています。

○県	: 1年 75.9%	2年 72.3%
●30%未満	: 1年 39.8%	2年 38.5%
★差	1年 36.1ポイント	2年 33.8ポイント

<論理的な思考>

- 決まりや条件などを理解して使おうとします。

○県	: 1年 82.1%	2年 80.0%
●30%未満	: 1年 52.5%	2年 54.9%
★差	1年 29.6ポイント	2年 25.1ポイント

<論理的な思考>

- 複数の情報から必要な情報を選んで使おうとします。

○県	: 1年 82.0%	2年 81.3%
●30%未満	: 1年 52.5%	2年 50.0%
★差	1年 29.5ポイント	2年 31.3ポイント